

# 一般財団法人 語学教育研究所主催 2018年度講習会のご案内

**毎年恒例** **特別講座** 5月5日(土) 1時～4時(大東文化会館) 講師:江原 一浩 (※別紙詳細)  
 授業名人の授業が、広い会場で本人の解説付きでじっくり見られます。学生や語研会員は500円で参加できる「ワンコイン・セミナー」です。

**一部改編** **基礎講座「英語の授業は英語でー中学でも高校でもー」**  
 英語の授業を英語で進めるための基礎的な指導技術を4回シリーズで学ぶ講座です。オーラル・イントロダクションを核とした授業の進め方を少人数(定員20名)で実習します。シリーズ全4回を受講していただければ何よりですが、興味のある回だけに参加していただいても構いません。前期・夏期集中・後期の3回にわたって同じ内容を実施します。(講師により若干テキストは異なります。)

## 基礎講座(前期)

6月24日(日)	1. 授業づくりの基礎・基本	小菅 和也
7月15日(日)	2. 導入(文法事項中心)から言語活動まで	小菅 敦子
9月16日(日)	3. 導入(題材内容中心)	四方 雅之
10月 7日(日)	4. 音読から話す活動へ	淡路 佳昌

## 基礎講座(夏期集中)(上段が午前、下段が午後)

8月 5日(日)	1. 授業づくりの基礎・基本	望月 正道
	2. 導入(文法事項中心)から言語活動まで	田島 久士
8月 6日(月)	3. 導入(題材内容中心)	矢田 理世
	4. 音読から話す活動へ	吉田 章人

## 基礎講座(後期)

11月3日(土祝)	1. 授業づくりの基礎・基本	浅野 伸子
12月23日(日)	2. 導入(文法事項中心)から言語活動まで	大内 由香里
1月27日(日)	3. 導入(題材内容中心)	山崎 勝
2月17日(日)	4. 音読から話す活動へ	千田 享

**新編増補** **ア・ラ・カルト講座** 小学校も含めた豪華講師陣による1回完結のセミナー・ワークショップです。

7月29日(日)	① 授業の中でのフォニックス活用術	手島 良
8月 2日(木)	② 小学校英語でしておかなければならないこと Part 1	佐藤 令子
	③ 小学校英語でしておかなければならないこと Part 2	海崎 百合子
8月 4日(土)	④ Oral Introduction ~"The House that Jack Built"を体験する~	八宮 孝夫
	⑤ 授業に役立つプレゼンソフト活用術	草間 浩一
8月 7日(火)	⑥ 英語授業:私はこうして乗り越えた~蒔田の手の内、幕の内~	蒔田 守
9月 9日(日)	⑦ 「これならできる!」ライティング指導とその評価	馬場 千秋
9月29日(土)	⑧ 「定期試験の常識」の非常識	根岸 雅史
9月30日(日)	⑨ 発音指導の心技体	静 哲人
2月 3日(日)	⑩ 10年間の英語教育 -小学校の役割を考える-	粕谷 恭子

**基礎講座「英語の授業は英語で-中学でも高校でも-」****ア・ラ・カルト講座**

場 所：語学教育研究所研修室

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 6-36-13 サザンパレス西日暮里 102 号室

TEL 03-5901-9214 FAX 03-5901-9215

時 間：13:00～16:00 ただし基礎講座（夏期集中）およびアラカルト講座②③④⑤は

**午前** 9:30～12:30 **午後** 13:30～16:30

定 員：毎回 20 名

参加費：会員 3,000 円（1 日 5,000 円） ※1 日とは午前午後両方参加の場合です。

（※学生で会員の場合は 半日・1 日ともに 1,000 円）

一般 5,000 円（1 日 10,000 円） 学生 2,000 円（1 日 3,000 円）

申込方法：語研ホームページの「語研基礎講座」からお願いいたします。 <http://www.irlt.or.jp/>

**「英語の授業は英語で-中学でも高校でも-」****内容詳細****第 1 回 「授業づくりの基礎・基本」**

講師：小菅 和也（武蔵野大学）6 月 2 4 日（日）

望月 正道（麗澤大学）8 月 5 日（日）**午前**

浅野 伸子（東京都立小山台高等学校）1 1 月 3 日（土・祝）

英語の授業を英語で進める際に、どのような原則があるのでしょうか。また、英語の授業を効果的に組み立てていくためには、どのような点に注意しなければならないのでしょうか。このような、授業づくりの基礎・基本について考えます。4 回にわたるシリーズの「導入・概論」にあたる講座です。

**第 2 回 「導入（文法事項中心）から言語活動まで」**

講師：小菅 敦子（東京女子大学等非常勤講師・元東京学芸大学附属世田谷中学校教諭）7 月 1 5 日（日）

田島 久士（東京都大田区立糎谷中学校）8 月 5 日（日）**午後**

大内由香里（東京都荒川区立第九中学校）1 2 月 2 3 日（日・祝）

文法を教えるとは、単に明示的にルールを説明することだけではありません。日々の授業でどのように扱ってあげればいいのか。中学校での実演をもとに、1 つの新出文法事項を学習者が実際のコミュニケーションの中で使えるようにするための方法と考え方を提示します。高校の「英語表現」のヒントにもなると思います。いよいよ、中学校でも「英語で授業」を行うべきことが次の学習指導要領に明記されました。みなさんと一緒に、文法指導について再考していきたいと思います。

**第 3 回 「導入（題材内容中心）」**

講師：矢田 理世（筑波大学附属高等学校）8 月 6 日（月）**午前**

四方 雅之（成蹊中学高等学校）9 月 1 6 日（日）

山崎 勝（埼玉県立和光国際高等学校）1 月 2 7 日（日）

新しい題材についての背景知識を与えながら生徒たちに興味を持たせ、関連する語彙を与えることが導入の大きな目的です。そして導入の先には、読解活動や発表活動など、単元のゴールがあります。到着点を見据えながら、どのように導入を組み立てたら良いか。実際の教材や授業の様子をご紹介します。それぞれの授業にあった導入を参加者と一緒に考えていきます。

**第 4 回 「音読から話す活動へ」**

講師：吉田 章人（日本女子大学附属高等学校）8 月 6 日（月）**午後**

淡路 佳昌（大東文化大学）1 0 月 7 日（日）

千田 享（埼玉県立浦和西高等学校）2 月 1 7 日（日）

本文の導入と説明のあと、どのように変化を持たせて繰り返し音読をさせるか、どのような点について指導を加えるか、さらに、音読の成果を土台として、いかにして発表活動につなげていけばいいかについて考えます。

## ア・ラ・カルト講座 内容詳細

### ① 「授業の中でのフォニックス活用術」 7月29日（日）

講師：手島 良（武蔵高等学校中学校）

英単語の綴りを正しく読んだり書いたりするのが苦手な生徒がたくさんいます。そして多くの生徒は既習の知識である「ローマ字読み」でこの問題を解決しようとしています。フォニックスが解決の方法かもしれないと思いつつも、ふだんの授業でどのように活用してよいか困っている先生方のために、授業で使えるさまざまな tips をご紹介したいと思います。生徒の発音も良くなります！

### ② 「小学校英語でしておかなければいけないこと Part 1」 8月2日（木）午前

講師：佐藤 令子（国士舘大学）

2020年度から、現行の5・6年生の「英語活動」が3・4年生に移行し、5・6年生は教科としての英語を学ぶこととなります。中学校以降の英語教育を質量ともに改善していくために、その土台となる小学校4年間で何をしておかなければならないか、子どもの学習能力を基に、「えいごリアン 2000-2001 年度版」や具体的な活動を紹介しながら、考えていきたいと思います。

### ③ 「小学校英語でしておかなければいけないこと Part 2」 8月2日（木）午後

講師：海崎百合子（田園調布雙葉小学校）

子どもが英語を学んでいく過程で、小学生の時にこそ経験させておきたいことがあります。子どもの発達段階に合わせてやり取りをする中で、子どもたちが「何となくわかった!」「英語を使ってみたい!」と思えるように何をどのように聞かせ、発話に導けばよいでしょうか？また、小学校での学びは、中学校以降の英語学習にどのようにつながっていくでしょうか？具体的な活動を交えながらワークショップ形式で一緒に考えたいと思います。

### ④ 「Oral Introduction ～"The House that Jack Built"を体験する～」 8月4日（土）午前

講師：八宮 孝夫（筑波大学附属駒場中高等学校）

有名な「積み上げ歌」の"The House that Jack Built"は、へたに文字を見せるより、歌に出てくる登場人物・動物の絵を貼ってオーラル・イントロダクションをしながら、発音もさせて、1行ずつ積み上げていった方が、はるかに生徒の食いつき、定着率が良いので、その指導を体験していただきます。覚えれば授業でも使えますし、同時にオーラル・イントロダクションのコツも学ぶことができます。他にも面白いナーサリーライム、音源なども紹介します。

### ⑤ 「授業に役立つプレゼンソフト活用術」 8月4日（土）午後

講師：草間 浩一（武蔵高等学校中学校）

PowerPoint や Keynote のようなプレゼンソフトを授業で活かす方法を探ります。PC 1 台、あるいはスマホやタブレットが 1 台あれば実践できる ICT 活用型の授業の方法を、特別支援教育や UDL (Universal Design for Learning) の知見を取り入れつつ、ワークショップ形式で考えます。

### ⑥ 「英語授業：私はこうして乗り越えた ～蒔田の手の内、幕の内～」 8月7日（火）

講師：蒔田 守（元筑波大学附属中学校）

荒れる川崎市立公立中学校での 12 年間、横浜国立大学附属横浜中学校での 3 年間で挟み、パーマー先生を始めとするそうそうたる先輩たちが歴史を刻んだ筑波大学附属中学校での 22 年間、トータル 37 年間に及ぶ英語教室は楽しい日々ばかりではなかった。その「困難を楽しさに変える」英語授業づくりを退職者が振りかえる。すぐに役立つアイデアはなくとも、定年まで楽しく過ごした者の知恵が見つかるかもしれない。

⑦ 「『これならできる！』ライティング指導とその評価」 9月9日（日）

講師：馬場 千秋（帝京科学大学）

「ライティング指導は難しい」という印象をお持ちの方は多いと思います。本講座では、「これならできる！」と受講者の方に思っただけのような、日常の授業の中で実際の検定教科書を用いたライティング指導や、投げ込み教材等を使ったライティング指導を紹介します。また、フィードバック方法と評価方法についても具体例を提示します。

⑧ 「『定期試験の常識』の非常識」 9月29日（土）

講師：根岸 雅史（東京外国語大学）

みなさんは「定期試験」をどう作っているのでしょうか。自分が受けた定期試験や先輩の先生方の定期試験をモデルに作っているかもしれません。確かに、こうしたアプローチは、テスト作りの学びとしては効率がいいでしょう。しかし、そうして受け継がれている「定期試験の常識」には、テストとしての大きな問題が含まれていることもあります。この講座では、こうした常識について見直してみたいと思います。

⑨ 「発音指導の心技体」 9月30日（日）

講師：静 哲人（大東文化大学）

効果的に発音指導を行うためには、World Englishes の時代においてなぜ発音が重要なのかについての確信[心]、授業中に他にスキルと絡めて指導する技術[技]、そしてそれを支える自らの発音力[体]が不可欠です。文節要素を支配するとも言われるプロソディも含めて発音指導の心技体を実習します。

⑩ 「10年間の英語教育 -小学校の役割を考える-」 2019年 2月3日（日）

講師：粕谷 恭子（東京学芸大学）

小学校の英語教育に関して、的を射た指摘から時代錯誤的な指摘まで大小の不安の声が聞かれます。正体がわからない事から来る不安もあることでしょう。10年間のうち4年間を預かる小学校の役割を整理し、現状の指導力のできる何か、小学校での英語経験をどう中学で引き取ったらよいのか、ご一緒に考えたいと思います。

**教員志望学生対象** 学生研修室セミナー

各回とも参加費は学生無料、社会人1,000円

語研ホームページの「その他のイベント」からお申し込みください。 <http://www.irlt.or.jp/>

**第1回 「教育実習に行く前に」**

日時：4月22日（日）13:00～15:00

会場：東京学芸大学 W201 教室

講師：吉田 章人（日本女子大学附属高等学校）

**第2回 「こういう学生に来てほしい！採用サイドの声を聞こう」**

日時：6月30日（土）15:00～17:00

会場：語学教育研究所研修室（定員20名）

講師：藤井 昌子（元文教大学）・鈴木 文也（桐朋中学・高等学校）

**第3回 「これならうまく行く！生徒同士のインター・アクション」**

日時：2019年2月16日（土）15:00～17:00

会場：語学教育研究所研修室（定員20名）

講師：鈴木 文也（桐朋中学・高等学校）